

令和元年度着手

団体営土地改良事業計画書

鯖江第2地区 農業用道路事業

【 集 落 基 盤 整 備 事 業 】

(令和7年度 第1回変更)

鯖江市

令和元年度着手 団体営土地改良事業 鯖江第2地区（農業用道路（集落基盤整備）事業）

変 更 理 由 書

I. 変更の内容

1. 事業施工に係る地域の変更

(1) 地積

(単位：ha)

市町村名／地目		田	畑	計
() 鯖江市：舟枝町・橋立町	変更前	13.8	—	13.8
	変更後	13.8	—	13.8
増・減		—	—	—

2. 主要工事計画の変更

(1) 計画受益面積

(単位：ha)

項 目		田	畑	その他		計
道路整備	変更前	13.8	—	—		13.8
	変更後	13.8	—	—		13.8
増・減		—	—	—		—

(2) 事業量

項 目	変更前	変更後	増・減	備 考
道路工	660.0 m	684.0 m	24.0 m	
計	660.0 m	684.0 m	24.0 m	

(3) 事業費

(単位：千円)

区 分	変更前	変更後	増・減	備 考
道路工	70,000	128,300	58,300	
測量試験費	6,300	7,760	1,460	
用地及び補償費	—	—	—	
事業費計	76,300	136,060	59,760	
事 務 費	—	—	—	
総事業費	76,300	136,060	59,760	

変更前 平成30年度価格
変更後 令和 7年度価格

内 訳

自 然 増	14,300
工 法 変 更	45,460
計	59,760

(4) 工事予定期間

着 工	(平成 31 年度)
	(令和 元 年度)
完了予定	(平成 35 年度)
	(令和 7 年度)

Ⅱ. 計画変更を必要とする理由

1. 事業施行に係る地域の変更

地質調査の結果、軟弱地盤であることが判明し、セメント安定処理を実施する必要がある、また構造物基礎下部の地盤に関しても軟弱であり、許容支持力を得られないため、基礎杭の設置を追加したいため事業費を増としたい

2. 主要工事計画の変更

道路工		(単位：千円)
工法変更		
・ 地質調査の結果、軟弱地盤であることが判明し、セメント安定処理を実施するため事業費を増としたい。	N=1.0式	30,000
・ 構造物基礎下部の地盤が軟弱であり、許容支持力を得られないため、基礎杭の設置を追加したいため事業費を増としたい。	N=1.0式	14,000
測量試験費		
・ 上記の理由に伴い、測量試験費の増。	N=1.0式	1,460
【自然増】		14,300

3. 事業費変更の理由

項 目	増 減
自 然 増	14,300 千円
工 法 変 更	45,460 千円
計	59,760 千円

目 次

第 1 章 目 的	1
第 2 章 地 域 及 び 地 積	1
第 1 節 地 域	1
第 2 節 地 積	1
第 3 章 現 況	1
第 1 節 気象及び海象	1
1 . 一般気象	1
2 . 特殊気象	2
3 . 海 象	2
第 2 節 土地状況	2
1 . 地形、土壌及び侵食の程度	2
2 . 土地分類	3
3 . 土地利用の状況	3
4 . 土地所有の状況	3
第 3 節 水利状況	4
1 . 用水状況	4
2 . 排水状況	7
3 . 河川状況	9
第 4 節 道路概況	9
1 . 道路概況	9
2 . 主要道路一覧表	11
第 5 節 地域農業の概況	11
1 . 産業別就業人口	11
2 . 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数	11
3 . 動力農機具及び主要家畜頭数	11
4 . 主要作物作付状況	12
5 . 農業の動向	12
第 6 節 地域環境の概況	12
第 4 章 一般計画	13
第 1 節 事業計画の要旨	13
1 . 要 旨	13
2 . 事業別面積	13

第2節	営農計画及び土地利用計画	13
1.	営農計画の概要	13
2.	土地利用区分	13
3.	作付方式	14
4.	生産計画	14
5.	労働改善計画	14
6.	級地別土地利用区分	15
7.	土地配分計画	15
第3節	用水計画	15
1.	計画基準年	16
2.	計画かんがい方式	16
3.	計画用水系統	16
4.	計画用水量	17
5.	水源計画	18
第4節	排水計画	19
1.	計画基準雨量	19
2.	計画排水方式	19
3.	計画排水系統	19
4.	計画排水量	20
5.	排水対策	20
6.	たん水検討	20
第5節	道路計画	21
1.	道路及び索道	21
2.	路線配置図	21
第6節	農用地造成計画	22
1.	農用地造成計画	22
2.	土壌改良	22
第7節	洪水調節計画	22
1.	計画基準雨量	22
2.	計画洪水量及び調節量	22
3.	貯水池	22
4.	洪水調節検討	23
5.	管理計画	23
第8節	干拓計画	23
第9節	農用地整備計画	24
1.	区画整理	24
2.	暗渠排水	25
3.	客土	25
4.	農地保全	25

第10節 老朽ため池改修計画	26
1 . 洪水吐改修計画	26
2 . 堤体補強計画	26
3 . 取水施設改修計画	26
第 5 章 主要工事計画	27
第1節 用水施設	27
1 . 貯水池	27
2 . 頭首工	27
3 . 揚水機	27
4 . 用水路	27
5 . その他かんがい施設	27
第2節 排水施設	28
1 . 排水水門	28
2 . 排水機	28
3 . 排水路	28
4 . その他排水施設	28
第3節 道路及び索道	29
1 . 道 路	29
2 . 索 道	29
第4節 農用地造成	29
1 . 農用地造成	29
2 . 土壌改良	30
第5節 洪水調節施設	31
1 . 貯水池	31
2 . 頭首工及び導水路	31
第6節 干拓施設	31
1 . 堤防	31
2 . 潮止め	31
3 . 付属施設	31
4 . 埋立	32
第7節 農用地整備施設	32
1 . 区画整理	32
2 . 暗渠排水	32
3 . 客土	33
4 . 除礫	33
5 . 農地保全	33

第8節 老朽ため池改修施設	34
1．貯水池	34
2．堤体補強施設	34
第6章 附帯工事計画	34
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	34
第8章 環境との調和への配慮	34
第9章 換地計画の概要	35
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	35
第2節 換地区の設定	35
1．換地区の名称、所在、面積	35
2．換地区を設定する理由	35
第3節 換地計画樹立の基本方針	35
1．従前の土地の地積の基準	35
2．用途別予定地積	36
3．農用地集団化の方針	37
4．非農用地の換地方法	37
第4節 土地の評価及び清算の方法	37
1．評価の方法	37
2．清算の方法	37
第5節 換地計画樹立の年度計画	37
第6節 換地処分 of 時期に関する特則	38
第10章 事業費の総額及び内訳	39
第11章 効 用	40
第12章 関連する事業	40
第13章 現況・計画図面	40

第 1 章 目 的

変更なし

本地区は、福井県の穀倉地帯である鯖江市の東部に位置している。豊かな自然環境が存在し、優良農地が広がっている穀倉地帯であり、昭和47年から昭和58年にかけて県営ほ場整備事業鯖江東部地区により基盤整備が行われた地域である。

現在、県道鯖江・浅水線沿いに営農組織であるエコファーム舟枝の作業拠点である農機具倉庫が建てられ、営農活動を行うことになった。しかしながら、作業拠点横の通路は、農業用排水路のための、維持管理道路で幅が1.8mしかなく、車が走行できない状況である。よって、各圃場へ向かうには、県道を走行しており、作業効率が非常に悪い。また、走行中に落下した泥の撤去作業等もあり、営農に支障をきたしている。

よって、農業用道路の整備を行うことは、転作作物の品質及び農業輸送の円滑化が確保される。また、農作業と農作物物流の効率化が図られることにより、将来に向けて継続的な農業生産体制を構築し、地域の農業農村の活性化を図る。

第 2 章 地域及び地積

第 1 節 地 域

変更なし

(第1表)

事業名	地 域
農業用道路事業	鯖江市 : 舟枝町・橋立町 地 係

第 2 節 地 積

(平成30年11月現在)

令和7年11月現在

(第2表)

事業名	現況地目 市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
(") 農業用道路	(") 鯖江市	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
計		(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	

第 3 章 現 況

第 1 節 気象及び海象

1. 一般気象

変更なし

(第3表-1)

観測所名	福井観測所	かんがい期	非かんがい期	計又は平均	備 考
観測期間	H18年～H27年	5月～9月	10月～4月		
平均気温 (°C)		23.4	8.6	14.8	
降水量	平均 (mm)	922.0	1,441.0	2,363.0	
	基準年 (mm)	—	—	—	
降水日数	平均 (日)	52	118	170	
	基準年 (日)	—	—	—	
根雪期間		12月～	3月	56日間	
無霜期間		4月～	11月	241日間	
最多風向	S (7月～8月)	最大風速		m/S 19.7	

2. 特殊気象

変更なし

(第3表-2)

観測所名	第1位			第2位			第3位			第4位			第5位			備考
福井観測所																
観測期間	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	数量	年月日	発生確率	
S61年～H27年																
最大日雨量 (mm)	198	H16.7.18	1/83	162	H18.7.18	1/21	144	H7.7.3	1/11	138	H25.7.29	1/9	134	H24.9.6	1/8	
最大時間雨量 (mm)	75	H16.7.18	1/50	63	H21.8.2	1/20	63	H24.9.6	1/20	55	H25.7.13	1/11	53	H26.7.20	1/9	
最大4時間雨量 (mm)					記 録 な し											
最大連続雨量 (mm)	567	H7.7.1～ H7.7.22	1/21	534	H18.7.11～ H18.7.27	1/45	350	H25.11.15～ H25.12.11	1/9	341	H26.8.2～ H26.8.30	1/8	322	H17.6.27～ H17.7.7	1/7	
最大連続干天日数 (mm)	32	H6.7.8～ H6.8.8	1/81	29	H9.8.8～ H9.9.5	1/35	25	H22.7.16～ H22.8.9	1/12	23	H14.5.19～ H14.6.10	1/7	22	H2.7.20～ H2.8.10	1/5	

3. 海 象

変更なし

(第3表-3)

観測所名	観測期間	年～年	既往最高潮位	さく望平均満潮位	上下弦平均満潮位	平均潮位	上下弦平均干潮位	さく望平均干潮位	既往最低潮位	備 考	
実 測 値						該 当	事 項	な し			

第2節 土地状況

1. 地形、土壌及び侵食の程度

(第4表-1-1)

事業名	地目	田						畑 ・ そ の 他									受益地標高 (m)		備考
	傾斜 区分	1/1000 以下	1/1000 ㄥ 1/100	1/100 ㄥ 1/20	1/20 ㄥ 1/11.5	1/11 以上	計	3° 以下 ㄥ 8°	3° ㄥ 8°	8° ～15°			15° ㄥ 20°	20° 以上	計	最高	最低		
										8° ～ 10°	10° ～15°	8° ～15°							
農道 業用	面積 (ha)	() —	() 13.8	() 1/20	() 1/11.5	() —	() 13.8	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() 25	() 10		
	比率 (%)	() —	() 100.0	() —	() —	() —	() 100.0	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —	() —				

(第4表-1-2)

土 壌 統 計 区 分 名	土 壌 区 分 一 覧 表										面 積 (ha)			備 考
	土 壌 断 面							堆 積 様 式	母 材	事 業 名				
	色	腐 植	レ キ 層	酸 化 沈 殿 物	土 性					泥 炭 層 黒 泥 層 及 び グ ラ イ 層	農 業 用 道 路	計		
					表 土	下 層 土								
						一 層	二 層						三 層	
(") 東 浦 - 3	(") Y / G	(") 無	(") 無	(") 無	(") CL	(") CL	(") CL	(") ー	(") 沖 積 世	(") 非 固 結 水 成 岩	(") 13. 8		(") 13. 8	
計											(") 13. 8		(") 13. 8	

変更なし

(第4表-1-3)

事業名	区 分	土 壌 の 流 亡 率				年 平 均 流 亡 速 度				カリ侵食程		備考
		0%	0%～25%	25%～50%	50%以上	0mm	3mm未満	3～5mm	5mm以上	中程度のもの	大なるもの	
	面積 (ha)					該 当 事 項 な し						
	比率 (%)											

2. 土地分類

変更なし

(第4表-2-1)

市町村名	級地別	農 用 地 造 成										計 (ha)	備 考	
		一級地	二 級 地				三 級 地				四 級 地			
			※ (ha)	3° ～8° (ha)	8° ～12° (ha)	12° ～15° (ha)	※ (ha)	15° ～20° (ha)	20° ～25° (ha)	25° ～30° (ha)	※ (ha)			30° 以上 (ha)
					該 当	事 項	な し						※は傾斜 以外の要 因による もの	

変更なし

(第4表-2-2)

市町村名	級地別	干 拓					備 考
		一級地 (ha)	二級地 (ha)	三級地 (ha)	四級地 (ha)	計 (ha)	
				該 当	事 項	な し	

3. 土地利用の状況

(平成30年11月現在)

令和7年11月現在

(第4表-3)

事業名	土地利用別	耕 地						山 林		採草放牧地	原野	その他	計 (ha)	備 考
		水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他の樹園地 (ha)	用材林 (ha)	薪炭林 (ha)					
(") (") 農業用道路 鯖江市		(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
合 計		(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	

4. 土地所有の状況

(第4表-4)

事業名	所有別 区分	民有地	国有地	県有地	市町村	土地改良区	計	備考
農業用道路	面積 (ha)	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
	受益者数 (人)	(") 37	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 37	
	筆数 (筆)	(") 44	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 44	
	権利関係	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	
	備考 (関係戸数)	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	
合計	面積 (ha)	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
	受益者数 (人)	(") 37	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 37	
	筆数 (筆)	(") 44	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 44	
	権利関係	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	
	備考 (関係戸数)	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	

第 3 節 水利状況

1. 用水状況
変更なし

該 当 事 項 な し

(1) 用水系統
変更なし

該 当 事 項 な し

(2) 用水施設
(ア) 取水方法一覧表
変更なし

(第5表-1)

変更なし

(第5表-1)

事業名	項目 施設名	かんがい面積						計		水利権		慣行水利権		延べ 取水量	備考
		500ha以上		50～100ha		50ha未満									
	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	m ³ /s	箇所	m ³ /s	m ³ /S		
	貯水池														
	井 堰														
	自 然 取入口														
	揚水機														
	その他														
	計														
合 計															

(イ) 改修を要する施設一覧表
変更なし

(第5表-2)

事業名	項目 施設名	施設名又は 箇所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新 設 年 又は更新年	改 修 を 必 要 と す る 理 由	備 考
	貯水池							
	井 堰							
	自 然 取入口							
	揚水機							
	用水路							
	その他							
	計							
合 計								

(3) 用水に関する被害状況
(ア) 用水不足による被害状況

変更なし

(第5表-3-1)

事業名	項目 系統名	かんがい 面積 (ha)	現況 必要水量 (千 m^3)	不足水量				平均		備考
				かんがい期最大不足水量		かんがい期総不足水量		減産量		
				平均(千 m^3 /S)	基準年(千 m^3 /S)	平均(千 m^3)	基準年(千 m^3)	作物名	減産量(t)	
				該 当 事 項 な し						
	計									
合 計										

(イ) その他の被害状況

変更なし

(第5表-3-2)

事業名	時期別	かんがい 面積(ha)	水温(℃)		水質	被害量(t)	備考
			最高	最低			
			該 当 事 項 な し				

(4) ため池決壊の場合の想定被害状況

変更なし

(第5表-3-3)

事業名	想定被害面積(ha)				想定被害額(百万円)						備考
	田	畑	その他	計	作物	農地	農業用施設	公共施設	家屋その他	計	
					該 当 事 項 な し						
合計											

2. 排水状況
変更なし
該 当 事 項 な し

(1) 排水系統
変更なし
該 当 事 項 な し

(2) 排水施設
(ア) 排水方法一覧表
変更なし

(第5表-4)

事業名	項 目		排 水 面 積						計		排水慣行 (m³/S)	現況排水 能 力 (m³/S)	備考
			500ha以上		100～500ha		100ha未満						
	施 設 名		箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
	自 然	排 水 路											
		水 門											
	機 械	排 水 機											
		該 当 事 項 な し											
		水門及び排水機											
		排水路及び排水機											
	計												
合 計													

(イ) 改修を要する施設一覧表
変更なし

(第5表-5)

事業名	項 目		施設名又は 箇 所 数	受益面積 (ha)	構 造	規 模	新設年又は 更新年	改修を必要 とする理由	備考
	自 然	排 水 路							
		水 門							
	機 械	排 水 機	該 当 事 項 な し						
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
		計							
	合 計								

(3) 排水に関する被害状況
変更なし

(第5表-6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況				乾湿状況(ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (hr)	湛水面積 (ha)	湛水量 (千m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
	乾								湿	乾	湿	乾	湿				
			平均														
			基準年														
			平均	該 当 事 項 な し													
			基準年														
	計																
合 計																	

3. 河川状況

(1) 河川状況

変更なし

(第5表-7)

項 目 河 川 名	流 路 状 況	勾 配	断 面	計画洪水量	既往最大洪水量 (m^3/S)	備 考
		該	当 事 項	な し		

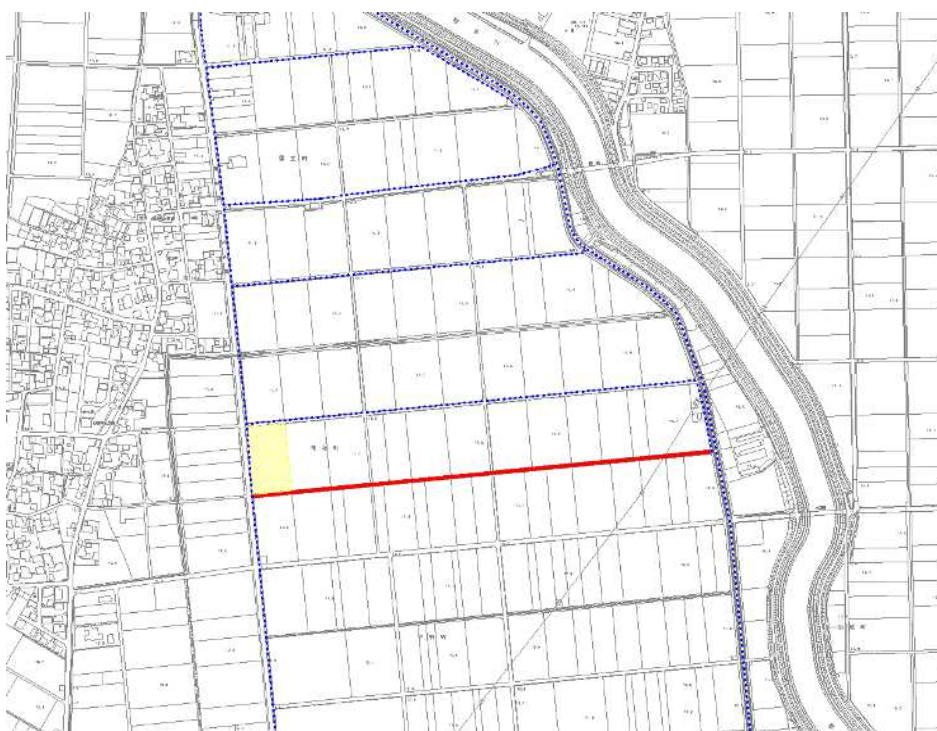
(2) 洪水に関する被害状況

変更なし

(第5表-8)

項 目 区 分	農 用 地 (百万円)	農用施設 (百万円)	作 物 (百万円)	公共施設 (百万円)	備 考
過去の最大被害額					
平 均 被 害 額		該	当 事 項	な し	

第 4 節 道路概況
1. 道路概況
変更なし



2. 主 要 道 路 一 覧 表

変更なし

(第 6 表)

No	路 線 名	管理区分別	延 長 (m)	幅 員 (m)		構 造	改修の要否	備 考
				全 幅	有 効			
1	県道 191 号線 鯖江・浅水線	県	2,096	8.0		As舗装	否	
2	国道 417 号線	国	20,692	8.0		As舗装	否	

第5節 地 域 農 業 の 概 況

1. 産 業 別 就 業 人 口

変更なし

福井県農林水産統計年報「平成27年国政調査」

(第 7 表－1)

項 目	総 数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気 ガス 熱供給 水道業	運輸 通信業	卸売 小売業 飲食店	金融 保険業	不動産業	サービ ス業	公務	その他	備考
市町村名	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	
鯖江市	34,919	587	27	8	4	2,181	11,445	123	1,687	5,016	798	278	10,820	999	946	国勢調査
計	34,919	587	27	8	4	2,181	11,445	123	1,687	5,016	798	278	10,820	999	946	
比率 (%)	100.0	1.7	0.1	0.0	0.0	6.3	32.8	0.4	4.8	14.4	2.3	0.8	31.0	2.9	2.7	

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況並びに専兼業別農家数

変更なし

農林業センサス 平成27年現在 (第 7 表－2)

項目 市町村名	農家 総戸数 (戸)	経営耕地広狭別農家数（戸）											一戸当たり平均農用地面積(ha)						耕地の 分散状況		専兼業別農家数 (戸)			備考
		例外規定 の適用を 受けるもの	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ha 以上	自給的 農家	田	畑	樹 園 地	小 計	草 地	計	一戸 当 地 数	団地 面 積 (ha)	専 業	兼 業		
																						第一種	第二種	
鯖江市	1,048	6	112	251	168	73	42	20	25	10	9	332	1.72	0.08	0.07	1.87	—	1.87	—	—	95	67	886	
計	1,048	6	112	251	168	73	42	20	25	10	9	332	1.72	0.08	0.07	1.87	—	1.87	—	—	95	67	886	
比率（％）	100.0	0.6	10.7	24.0	16.0	7.0	4.0	1.9	2.4	1.0	—	31.7	92.0	4.0	4.0	100.0	0	100.0			9.1	6.4	84.5	

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

変更なし

農林業センサス 平成27年現在 (第 7 表－3)

項 目	動 力 農 機 具								主 要 家 畜							
	トラクター		田 植 機		コンバイン				乳用牛		肉用牛		採卵鶏		豚	
	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (台)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)	数 量 (百羽)	戸 数 (戸)	数 量 (頭)	戸 数 (戸)
市町村名																
鯖江市	836	709	619	585			617	560			X	1	X	2	—	—
計	836	709	619	585	0	0	617	560			X	1	X	2	—	—
100戸当数量(台、頭)	118		106				110									
利用戸数割合(%)																

※表内の記号の意味は次のとおりとする(0:単位に満たないもの —:事実のないもの …:調査を欠くもの X:該当農家が2戸以下のもの)。

4. 主要作物作付け状況

変更なし

農林水産統計年報(令和元年現在)

(第7表-4)

市 町 村 名			鯖 江 市						計	平 均	作付率	備 考
総耕地面積(ha)			2,110						2,110			
総本地面積(ha)			2,010						2,010			
区 分			作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	作付面積	単位面積	作付面積	単位面積		
作物名			(ha)	当たり収量	(ha)	当たり収量	(ha)	当たり収量	(ha)	当たり収量	(%)	
田	表 作	水 稲	1,500	523					1,500	523	71.1	福井農林水産
	裏 作											統計年報
	小 計		1,500					1,500				
畑	春 夏 作	大 麦	301	260					301	260		
	秋 冬 作	大 豆	106	185					106	185		
	小 計		407					407				
樹園地												
計			1,907					1,907				
市 町 村 別 延べ作付率(%)			90.4									

5. 農業の動向

変更なし

農林水産統計年報(令和元年現在)

(第7表-5)

項 目 区 分	農 家			土 地			主 要 作 物			大 家 畜			動 力 農 機 具			地域指定等	備 考
		B	A		B	A	作物名	B	A	家畜名	B	A	農 機 具 名	B	A		
変化の状況 (C年を100とする指数)	総 農 家 数	75	65	耕 地	98	97	水 稲	94	92	乳 牛	－	－	田 植 機	69	52	鯖江市 農業振興指定 S46. 3. 31 計画策定 H19. 6. 19	A：平成27年 B：平成22年 C：平成17年
	専 業 農 家	65	95	田	94	94	豆 類	93	141	肉 用 牛	－	－	動 力 耕 耘 機	－	－		
	第 一 種 兼業農家数	40	53	畑	95	91	麦 類	115	117	豚	－	－	トラクター	78	61		
	第 二 種 兼業農家数	78	64	樹 園 地	－	－				採 卵 鶏	－	－	バインダ	－	－		
	農 業 従 事 者 数	76	55	草 地	－	－							コンハ [＊] イン	72	57		
変化の理由	農 業 離 れ			農業事情の変化			作付体系の変化			－			機 械 の 大 型 化 及 び 協 同 利 用				

第6節 地域環境の概況

変更なし

舟枝地係の農道は、鯖江東部に位置した豊かな田園環境地帯で、東西に鞍谷川が流れている農村地域であり、生態系等の自然環境に恵まれた地域である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨 変更なし

本地区の道路は、現在、水路の管理道路として利用している路線である。生産組織の拠点施設を設けたが、県道沿いであることから、農地への移動に支障をきたしている。よって、水路の管理道路を拡幅して、農作業道路として活用することにより、生産から流通まで一貫した輸送経路となり、農産物・生産資材等の輸送を円滑化、農作業の迅速化が図られる。また、走行経費の節減や荷傷み防止が抑制されることで、農作物の品質が確保や商品化率の増加に繋がり、農業経営の安定を図る。

2. 事業別面積

(第 8 表)

事業名 土地利用区分 事業目的	農 業 用 用 排 水 施 設 事 業												計 (ha)	備考
	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)		
(") 農業用道路	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8							(") 13.8	
計	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8							(") 13.8	

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

変更なし

優良農地の保全と農地の流動化、農業の集約化を図ることで、適切な土地利用に努める。さらに、収益性の高い作物の作付け拡大と農作物の高付加価値化、大規模経営の推進や生産コストの低減により、農業経営の安定を強化していく。

2. 土地利用区分

(第 9 表－1)

事業名	土地利用区分 区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備 考
		(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
農業用道路	現 況	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
	計 画	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
計	現 況	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	
	計 画	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	(") —	(") —	(") —	(") 13.8	

3. 作付方式 変更なし

(第 9 表-2)

事業名	項目	経営類型	土地利用区分	1年目												2年目												3年目												備	考	
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
				月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月			月
農業用道路事業	現況	水田	輪換田																																							
			畑利用																																							
	計画	水田	輪換田																																							
			畑利用																																							

4. 生産計画

(第 9 表-3)

事業名		土地利用区分		項目	作物名	作付面積 (ha)			作付率 (%)		単位面積当たり 収穫量(kg/10a)			生産量 (t)			同左生産量増減 の内訳 (t)		備考
						現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積増減	単位面積当 収量増加	
農業用 道路事業	水田	表作	水 稲	(〃) 10.1	(〃) 10.0	(〃) △ 0.1	(〃) 73.2	(〃) 72.5	(527) 521	(527) 521	(〃) —	(53.2) 52.6	(52.7) 52.1	(〃) △ 0.5	(〃) △ 0.5	(〃) —			
		裏作																	
	畑利用	表作	大 麦	(〃) 3.3	(〃) 3.4	(〃) 0.1	(〃) 23.9	(〃) 24.6	(296) 264	(296) 264	(〃) —	(9.8) 8.7	(10.1) 9.0	(〃) 0.3	(〃) 0.3	(〃) —			
		裏作	大 豆	(〃) 3.3	(〃) 3.4	(〃) 0.1	(〃) 23.9	(〃) 24.6	(179) 126	(179) 126	(〃) —	(5.9) 4.2	(6.1) 4.3	(0.2) 0.1	(0.2) 0.1	(〃) —			
合 計				(〃) 16.7	(〃) 16.8	(〃) 0.1	(〃) 121.0	(〃) 121.8											

5. 労働改善計画
変更なし

(第9表-4)

事業名	項目 土地利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当たり労働投下量 (hr/10a)				備考
	区分			現況	計画	増減		
				該 当 事 項 な し				
合 計								

6. 級地別土地利用区分
変更なし

(第9表-5)

土地利用区分	区分 級地名	農用地造成 (ha)					干 拓 (ha)					合計
		一級地	二級地	三級地	四級地	計	一級地	二級地	三級地	四級地	計	
農地	田											
	輪換耕地											
	畑											
	(普通畑)				該 当 事 項 な し							
	(牧草畑)											
	樹園地											
	(桑園)											
	その他											
計												

7. 土地配分計画
変更なし

(第9表-6)

項目 区分	配分戸数 (戸)	地 目 別 配 分 計 画 (ha)								備考
		田	輪換耕地	畑					計	
				普通畑	牧草畑	樹園地				
増 反		()	()	()	()	()	()	()	()	
入 植		()	()	()	()	()	()	()	()	

第3節 用水計画

1. 計画基準年
変更なし

該 当 事 項 な し

2. 計画かんがい方式
変更なし

該 当 事 項 な し

3. 計画用水系統
変更なし

該 当 事 項 な し

(1) かんがい用水 変更なし

(第10表-1-1)

(2) 営農飲雑用水 変更なし

(第 10 表一 1-2)

5. 水源計画

(1) 水利用計画 変更なし

(第10表-2)

項 目		消 費 水 量	有 効 雨 量	純 用 水 量	粗 用 水 量	現況利用可能水量			不 足 水 量		水 源 依 存 量		水 源 工 種	備 考
						水 源 名	取水地点 利用 可能量	圃場利用 可能量	純不足 水量	全不足 水量	水 源 名	水 量		
区 分		a (千m3)	b (千m3)	c=a-b (千m3)	d=c/(1-a) (千m3)	e (千m3)	f (千m3)	g=c- f (千m3)	h=d-e (千m3)		(千m3)		損失率 α	
	(事業名)					該 当 事 項 な し								
	計													

(2) 用水対策

(ア) 貯水池

変更なし

(第10表-3)

貯水池名	項目	流域面積 (k m ²)		かんがい面積 (h a)			純貯水量 (千m3)	利用貯水量 (千m3)	利用回数 (回)	最大取水量 (m3/s)	備 考
				事 業 名							
		直接	間接			計					
				該	当	事 項	な	し			

(イ) 井堰及び自然取入口

変更なし

(第10表-4)

項目 取水施設名	河 川 名	流域面積 (km2)	かんがい面積 (h a)			取 水 量 (m3/s)		渇水量 (m3/s)	備 考
			事 業 名			最大	平均		
					計				
			該	当	事 項 な し				
計									

(ウ) 揚水機 変更なし

(第10表-5)

項目 名称	水源名	かんがい面積 (ha)			所要水量 (m3/S)		揚 水 機				備 考
		事 業 名					実揚程 (m)	揚水量 (m3/S)	台 数 (台)	全揚水量 (m3/S)	
				計	最 大	平 均					
				該 当 事 項 な し							

(エ) 用水路 変更なし

(第10表-6)

項 目 名 称	かんがい面積 (ha)			最 大 通水量 (m3/S)	延長 (km)	構 造	備 考
	事 業 名						
			計				
			該 当 事 項			な し	

(オ) その他の水源施設

該 当 事 項 な し

(3) 水質水温

変更なし

(第10表-7)

時 間 別	か ん が い 面 積	水 温		水 質	被 害 量	備 考
		最 高	最 低			
		該 当	事 項 な し			

第4節 排水計画

1 計画基準雨量 変更なし

該 当 事 項 な し

2. 計画排水方式 変更なし

該 当 事 項 な し

3. 計画排水系統 変更なし

該 当 事 項 な し

4. 計画排水量
変更なし

(第11表-1)

項目 排水 系統名	受 益 面 積 (ha)				流 域 面 積		基準 雨量 (mm)	降 雨 に よ る 直接単位流出量 (m³/S/km²)		基底流出量 (m³/S/km²)		全排水量(m³/S)			単位排水量 (m³/S/km²)	
	事 業 名				(km²)			(m³/S/km²)		(m³/S/km²)		山地	平地		(m³/S/km²)	
				計	山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地
						該 当										
計																

5. 排水対策

(1) 排水水門
変更なし

(第11表-2)

項 目 名 称	流域面積 (km2)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川			備 考
		事 業 名			排水量 (m^3/s)	地区内たん水 深 (m)	名 称	計画洪水量 (m^3/s)	計画洪水位 (m)	
				計						
					該 当	事 項	な し			
計										

(2) 排水機
変更なし

(第11表-3)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画		排 水 本 川				備 考
		事 業 名			排水量 (m ³ /s)	地区内たん水 深 (m)	実揚程 (m)	排水量 (m ³ /s)	台数 (台)	全排水量 (m ³ /s)	
				計							
					該 当	事 項	な し				
計											

(3) 排水路
変更なし

(第11表-4)

項 目 名 称	流域面積 (km ²)	受 益 面 積 (ha)			計 画 排水量 (m ³ /s)	延 長 (km)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名						名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m)	
				計							
					該	当	事	項	な	し	
計											

(4) その他
変更なし

該 当 事 項 な し

6. たん水検討
変更なし

該 当 事 項 な し

第5節 道路計画

1. 道路及び索道

(1) 道 路

(第12表-1)

項 目 路線名	幅 (有効) × 延 長 (m) (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
農道	() × (660) 4.0 (3.0) 684	() アスファルト舗装	() 県道に接続	
計	(660) 684			

(2) 索 道 変更なし

(第12表-2)

項 目 路線名	能 力 (t/hr)	延 長 (m)	接 続 道 路 名	備 考
	該 当	事 項	な し	

2. 路線配置図

変更なし

別 添 計 画 平 面 図 参 照

第6節 農用地造成計画

1. 農用地造成計画

(1) 農用地造成計画

変更なし

(第13表-1)

項 目 土地利用区分	主 要 作 物	自 然 傾 斜	耕 地 の 形 態	標 準 区 画 の 形 状	備 考
	該	当	事	項	な し

(2) 末端道水路配置図

変更なし

該 当 事 項 な し

2. 土壌改良

変更なし

(第13表-2)

項目 区分	面積 (ha)	土 壌 統(区)名	P H		置換酸度 (Y1)	りん酸 吸収係数 (mg/100g)	h a 当たり所要量			備 考
			H ₂ O	KCl			石灰 (t)	りん酸質 資材(t)	有機質 資材(t)	
			該	当	事	項	な	し		

第7節 洪水調節計画

1. 計画基準雨量

変更なし

該 当 事 項 な し

2. 計画洪水量及び調節量

変更なし

(第14表-1)

地点	流域面積 (km ²)	洪水到達 時間 (hr)	計画 洪水量 (m ³ /s)	安全 洪水量 (m ³ /s)	必要 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節量 (m ³ /s)	ピーク時 調節後 流量 (m ³ /s)	調節後 最大流量 (m ³ /s)	調節前後 の最大 流量の差 (m ³ /s)	最大 調節量 (m ³ /s)
			該	当	事	項	な	し		

3. 貯 水 池

変更なし

(第14表-2)

項目 貯水池名	流域面積(Km ²)		計画洪水量 (m ³ /s)	貯水量(千m ³)			計画調節 流量(m ³ /s)	可能調節 流量(m ³ /s)	備 考
	直接	間接		有効	洪水調節容量	他目的			
			該	当	事	項	な	し	

4.洪水調節検討

(1) 河川改修計画との関係

変更なし

該 当 事 項 な し

(2) 洪水調節が下流に及ぼす影響

変更なし

該 当 事 項 な し

(3) 計画基準雨量以外の降雨についての検討

変更なし

該 当 事 項 な し

5.管理計画

(1) 管理機構

変更なし

該 当 事 項 な し

(2) ダム管理操作上の各種基準

変更なし

該 当 事 項 な し

(3) 洪水調節要領

変更なし

該 当 事 項 な し

第8節 干拓計画

変更なし

(第15表)

項 目 名 称	延長 (m)	計画高潮(水)位 (T. P. m)	風向及び対岸距離 (km)	風速 (m/s)	気圧 (hPa)	備 考
		該 当 事 項 な し				

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

(1) 区画の形状
変更なし

(第16表-1)

長 辺×短 辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	田面差 (m)	備 考
	該 当 事 項 な し				
計 . . .					

(2) 表土扱い
変更なし

(第16表-2)

面 積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱 い 深 (cm)	土 量 (m3)	備 考
	該 当 事 項 な し			

(3) 末端道水路配置図
変更なし

該 当 事 項 な し

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水 変更なし

(第16表-3-1)

区 分	面 積 (ha)			土 壌 統 (区) 名	基 準 雨 量 (mm/日)	単 位 排 水 量 (L/s/ha)	計 画 後 の 地 下 水 位 (m)	集 水 渠 出 口 以 下 の 排 水 方 法	備 考
	事 業 名								
			計						
				該 当 事 項 な し					
計									

(2) 心土破碎 変更なし

(第16表-3-2)

区 分	項 目 面 積 (ha)			土 壤 統 (区) 名	土 壤 硬 度	備 考
	事 業 名					
			計			
				該 当 事 項	な し	
計						

3. 客 土

変更なし

(第16表-4)

項目 区 分	面 積 (ha)			土壌統 (区) 名	減水深 (mm/日)		作土の厚さ (cm)		10a当たり 客土量 (m3)	土壌の性質		備 考
	事 業 名				現況 平均	計画 平均	現況 平均	計画 平均		受益地	採土地 (客土材料)	
			計									
				該 当	事 項	な し						
計												

4. 農地保全

(1) 防災林

変更なし

(第16表-5-1)

項目 区分	最大風速 (m/s)	幅 (m)	間 隔 (m)	備 考
	該 当 事 項	な し		

(2) 排水工

変更なし

(第16表-5-2)

項目 名称	基準雨量 (mm/日)	土 性	流出率	排 水 量		備考
				単位排水量 (m ³ /s/ha)	全排水量 (m ³ /s)	
		該 当 事 項	な し			

(3) 侵食(崩壊)防止工

変更なし

(第16表-5-3)

項目 施設名	位 置	支配面積 (ha)	機 能	備 考
	該 当 事 項	な し		

第10節 老朽ため池改修計画

1.洪水吐改修計画

- (1) 計画基準雨量
変更なし

該 当 事 項 な し

- (2) 計画洪水量
変更なし

該 当 事 項 な し

2.堤体補強計画

変更なし

該 当 事 項 な し

3.取水施設改修計画

変更なし

該 当 事 項 な し

第5章 主要工事計画

第1節 用水施設

1. 貯水池

変更なし

(第17表-1)

名称	位置			備考					
型式	流域面積 (km ²)		堤高 (m)	堤長 (m)	堤体積 (千m ³)	基礎地盤地質	貯水量 (千m ³)		備 考
	直接	間接					総貯水量	有効貯水量	
堤 体		該 当	事 項	な	し				
洪水吐	型 式		洪水量 (m ³ /s)	取水施設	型式	取水量 (m ³ /s)	放流施設	型式	放流量 (m ³ /s)

2. 頭首工

変更なし

(第17表-2)

名 称	位 置			備考		
型 式	提 高 (m)	提 長 (m)		取 水 位 (m)	取 水 量 (m ³ /s)	付帯施設
		固 定 部	可 動 部			
		該 当	事 項	な	し	

3. 揚水機 変更なし

(第17表-3)

項 目 名 称	位 置	揚水量 (m ³ /s)	揚 程 (m)		揚 水 機			原 動 機			備 考
			全揚程	実揚程	型 式	口 径 (mm)	台 数 (台)	型 式	動 力 (kw)	台 数 (台)	
			該 当	事 項	な	し					

4. 用水路 変更なし

(第17表-4)

項目 水路名	かんがい面積(ha)			通水量 (m ³ /S)	延長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
			該 当	事 項	な	し					
計											

5. その他かんがい施設

変更なし

該 当 事 項 な し

第2節 排水施設

1. 排水水門

変更なし

(第18表-1)

項目 名称	位置	型式	構造	内水位 (m)	外水位 (m)	排水量 (m^3/s)	備考
		該 当 事 項 な し					
計							

2. 排水機

変更なし

(第18表-2)

項目 名称	位置	排水量 (m^3/s)	揚程 (m)		排水機			原動機			備考
			全揚程	実揚程	型式	口径 (mm)	台数 (台)	型式	動力 (kw)	台数 (台)	
			該 当 事 項 な し								
計											

3. 排水路

変更なし

(第18表-3)

項 目 水路名	受 益 面 積 (ha)			排水量 (m³/s)	延 長 (km)			構 造	勾配	主要構造物	備 考
	事 業 名				開きよ	トンネル その他	計				
			計								
				該 当 事 項 な し							
計											

4. その他排水施設

変更なし

該 当 事 項 な し

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

(第19表-1)

項 目 区 分	路 線 名	幅(有効)×延長 (m) (m)	構 造	付 帯 構 造 物			最 急 勾 配 (%)	同左の 延 長 (m)	最小曲 線半径 (m)	考
				名 称	構 造	数 量 (m)				
(") 農道	(") 第1号道路	(") (660) 4.0(3.0) × 684	(") アスファルト舗装	(") 水路	(") 可変側溝	(660) 684	(") —	(") —	(") —	
計		(660) 684								

(2) 道路主要構造物

変更なし

(第19表-2)

項 目 路線名	名 称	規 模 構 造	延 長 (m)	箇 所 数 (箇所)	備 考
		該	当 事	項 な し	

2. 索 道

変更なし

(第19表-3)

項 目 名 称	延長 (m)	高低差 (m)	能力 (t/hr)	原 動 機		備 考
				形 式	動 力	
		該	当 事	項	な し	

第4節 農用地造成

1. 農用地造成

(1) 抜 根

変更なし

(第20表-1)

項 目 区 分	樹 種	樹 径 (cm)	ha当たり本数 (本/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該	当 事	項 な し	
計						

(1) 除 磷

変更なし

(第20表-2)

項 目 区 分	対象土層の厚さ (cm)	ha当たり標準除磷量 (m³/ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
			該	当 事	項 な し
計					

(3) 開墾作業
変更なし

(第20表-3)

項 目		面 積	工 法	備 考
区 分	造成工法	(ha)		
		該 当 事 項 な し		
計				

(4) 地目変換
変更なし

(第20表-4)

項 目		面 積	工 法	備 考
区 分		(ha)		
		該 当 事 項 な し		
計				

(5) 末端用水路等
変更なし

(第20表-5)

項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
区 分					
		該 当 事 項 な し			
計					

(6) 末端排水路等
変更なし

(第20表-6)

項 目		数 量	規 模	構 造	備 考
区 分					
		該 当 事 項 な し			
計					

2. 土壌改良
変更なし

(第20表-7)

項 目	面 積	石 灰 量	りん酸質資材量	有機質資材量	備 考
区 分	(ha)	(t)	(t)	(t)	
	該 当 事 項 な し				
計					

第5節 洪水調節施設

1. 貯水池
変更なし

該 当 事 項 な し

2. 頭首工及び導水路

(1) 頭首工
変更なし

(第21表-2)

名称			位置	長 (m)			計画洪水位 (m)	付帯施設	備 考
			堤	固定部	可動部	計			
型式	集水面積 (km ²)	堤 高 (m)							
		該	当	事	項	な	し		

(2) 導水路
変更なし

(第21表-3)

項目 水路名	通水量 (m ³ /s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	備 考
		トンネル	その他	計			
		該	当	事	項	な	し

第6節 干拓施設

1. 堤 防
変更なし

(第22表-1)

項 目 名 称	型 式	延長 (m)	構 造				原地盤標高 (m)		備 考
			堤頂標高 (m)	盛土幅 (m)	盛土標高 及び舗装	上流斜面	下流斜面	平 均	
			該	当	事	項	な	し	

2. 潮止め
変更なし

(第22表-2)

項目 名称	工 法	幅 員 (m)	敷高標高 (m)	潮止め堤標高 (m)	最大流速 (m/s)	床固め構造	備 考
		該	当	事	項	な	し

3. 付属施設
変更なし

該 当 事 項 な し

4. 埋 立
変更なし

(第22表-3)

項目 区分	面 積 (ha)	埋 立 標 高 (m)	埋 立 土 量 (m ³)	施 工 方 法	備 考
		該 当 事 項	な し		

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理 変更なし

(第23表-1)

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標 準 区 画	土 量(m ³)	面 積(ha)	土 量(m ³)	
		該 当 事 項	な し			

(2) 末端用水路等 変更なし

(第23表-2)

項目 区分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	

(3) 末端排水路等 変更なし

(第23表-3)

項目 区 分	数 量	規 模	構 造	備 考
		該 当 事 項	な し	

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

変更なし

(第23表-4-1)

項目 区分	面 積 (ha)			集 水 渠				吸 水 渠						集水渠出口 以下の排水施設			備 考
	事 業 名			勾配	管種	管径 (mm)	延長 (m/ha)	勾配	管種	管径 (mm)	深さ (m)	間隔 (mm)	延長 (m/ha)	名称	構造	数量 (m/ha)	
			計														
計																	

(2) 心土破碎
変更なし

(第23表-4-2)

区分	項目	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該	当 事 項	な し		
計						

3. 客 土
変更なし

(第23表-5)

区分	項目	面 積 (ha)			客入土量 (m ³)	土取場土量 (m ³)	運搬距離 (km)	運搬方法	備 考
		事	業	名 計					
		該	当	事 項	な し				
計									

4. 除 礫
変更なし

(第23表-6)

区分	項目	対象上層の厚さ (cm)	ha当たり標準除礫量 (m ³ /ha)	面 積 (ha)	工 法	備 考
		該	当 事 項	な し		
計						

5. 農地保全

(1) 防風林
変更なし

(第23表-7)

区分	項目	幅 (m)	延 長 (m)	面 積 (ha)	樹 種	植栽本数 (本)	備 考
		該	当 事 項	な し			
計							

(2) 排水路
変更なし

(第23表-8)

区分	項目	延 長 (m)	流 量 (m ³ /s)	構 造	備 考
		該	当 事 項	な し	
計					

(3) 侵食防止工

(第23表-9)

名称	項目	構 造	数 量	備 考
		該	当 事 項	な し
計				

第8節 老朽ため池改修施設

1. 貯水池

変更なし

(第24表)

名 称					位 置			
堤 体	型 式	流 域 (km^2)	堤 高 (m)	堤 長 (m)	堤 体 積 (m^3)	堤 頂 幅 (m)	貯 水 量 (千m^3)	備 考
			該	当	事	項	な し	
洪水 吐	型 式	排 水 量 (m^3/s)	規 模 (m)	備 考	取 水 設 備	型 式	取 水 量 (m^3/s)	備 考

2. 堤体補強施設

(1) のり面保護施設

変更なし

該 当 事 項 な し

(2) 漏水防止工

変更なし

該 当 事 項 な し

第6章 附帯工事計画

変更なし

該 当 事 項 な し

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

換 地 区	着 手	完 了 予 定	備 考
全 区	(平成 31 年度) 令和 元 年度	(平成 35 年度) 令和 7 年度	

第8章 環境との調和への配慮

変更なし

本事業を施工するにあたり、建設機械は排気対策型機械を使用することにより、大気汚染の防止及びゴム製キャタピラ付きの建設機械を極力使用することで騒音や振動防止に努める。また、ドライ施工を原則とし天候に応じた工程により、水質の保全や水環境及び生態系等に十分な配慮を行う。

第9章 換地計画の概要

第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方
変更なし

該 当 事 項 な し

第2節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積
変更なし

(第25表-1)

換 地 区 名	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
	該 当 事 項 な し	

2. 換地区を設定する理由
変更なし

該 当 事 項 な し

第3節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準
変更なし

(第25表-2)

換 地 区 名	地 積 の 基 準
	該 当 事 項 な し

2. 用途別予定地積

[illegible]

(単位 : ha) (第25表-3)

[illegible]

3.農用地集団化の方針

変更なし

(第25表-4)

換地区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位置の選択方法	1戸当たりの目標団地数	区画畦畔の取扱い
		該 当 事 項 な し		

4.非農用地の換地方法

変更なし

(第25表-5)

換地区名	用 途	非農用地区域の位置の概略	面積 (㎡)	換地の手法	換地取得予定者	その他
		該 当 事 項 な し				

第4節 土地の評価及び清算の方法

1.評 価 の 方 法

変更なし

該 当 事 項 な し

2.清 算 の 方 法

変更なし

該 当 事 項 な し

第5節 換地計画樹立の年度計画 変更なし

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の 指定予定年度	換 地 計 画 の 決 定 予 定 年 度	換 地 処 分 予 定 年 度	備 考
		該 当 事 項 な し		

第6節 換地処分の特則

変更なし

該 当 事 項 な し

換地事務処理態勢

変更なし

(第25表-8)

選 定 事 務			処 分 事 務		
直営委託の区分	担当者 (委託先)	着手時期	直営委託の区分	担当者 (委託先)	着手時期
		該 当 事 項 な し			

地区担当換地士

変更なし

(第25表-9)

業 務 関 与 項 目	担 当 区 分	地 区 担 当 換 地 の 所 属 氏 名
1. 換地設計基準の確定	指導関与	該 当 事 項 な し
2. 土地評価基準の作成	〃	
3. 換地計画原案の作成	〃	
4. 換地計画書の作成	直接関与	

区 分 \ 事業名		農業用道路事業 (単位：千円)	備 考
道 路 工		(70,000) 128,300	(平成 30 年度単価) (令和 7 年度単価)
	小 計	(70,000) 128,300	
	測 量 試 験 費	(6,300) 7,760	
	小 計	(6,300) 7,760	
	計	(76,300) 136,060	
	総 事 業 費	(76,300) 136,060	
関 連 事 業 (参 考)			

第11章 効 用

(第27表)

事業名	区 分	項 目	年増加見込効果額 (千円)	年増加見込所得額 (千円)	備 考
農 業 用 道 路 事 業	維持管理費節減効果		(70)	(90)	
			120	146	
	走行経費節減効果(営農)		(6,094)	(258)	
			7,281	324	
	計		(6,164)	(348)	(平成30年度単価)
			7,401	470	令和7年度単価
	廃 用 損 失 額		—		

(参考)

(82,587)
 総費用(現在価値化): 179,962 千円
 (126,825)
 総便益額(現在価値化): 203,802 千円
 (1.53)
 総費用総便益比: 1.13 ≥ 1.00
 (")
 総所得償還率: — % ≤ 20 %
 (")
 増加所得償還率: — % ≤ 40 %

第12章 関連する事業

変更なし

(第28表)

区 分	事 業 名	事 業 主 体	受益面積 (h a)	備 考
		該 当 事 項 な し		

第13章 計 画 平 図 面

1. 計 画 平 面 図 別 添